

マラウイ人の見た日本

第2回 オースティン・ソンバさん ―20年間マラウイで剣道を普及―(2013年12月)

オースティン・ソンバさん (Mr. Austinie Somba)

ソンバさんは1990年代はじめ、マラウイで活動していた青年海外協力隊員(JOCV)から剣道を学び、以降20年間マラウイで剣道を普及する活動を続けています。2013年、ソンバさんが代表を務めるマラウイ剣道協会は20年間にわたるマラウイでの剣道普及活動の功績が称えられ、外務大臣表彰を受賞しました。外務大臣表彰は、我が国と諸外国との友好親善関係の増進に特に顕著な貢献を行った個人および団体に授与されています。マラウイ剣道協会はマラウイで同表彰を受賞する初の団体となりました。



-剣道をはじめたきっかけは何ですか？

最初、私にとっての剣道は子どもの遊びのようなものでした。当時私はまだ13, 14歳くらいで、父親が働いていたブランチタイヤのクイーン・エリザベス中央病院によく出入りしていました。その病院で栄養士として活動していた中川青年海外協力隊員(当時)が昼休みに竹刀を取り出し、素振りをする様子を見かけたのが始まりでした。その様子に興味を持った私と友人たちは、思い切って中川さんに何をしているのか聞きました。中川さんの説明を聞いてますます興味を強めた私たちは、剣道を教えてくれと頼みました。それが私の剣道との出会いでした。中川さんは少しずつ私たちに剣道を教えてくれましたが、当時道具が無かったのでモップの柄などで練習したのです！私たちが練習しているのを見て、他の子どもたちも興味を持ち始めたので、中川さんは小さなクラブを作って子どもたちに教えてくれるようになりました。1992年頃のことです。参加していた子どものほとんどは親が病院で働いているために病院に出入りしている子どもたちでした。私は小学校の最終学年で、中川さんと練習しようと学校から急いで帰ってきたものです。

-マラウイ剣道協会はどのように成長していったのですか？

練習を始めた当時のメンバーは私と同年代(13~14歳)の子どもが数名、他にもっと小さな5~7歳くらいの子ともいました。剣道を習い始め、剣道について色々なことを知るうちにもっともっと練習したいという気持ちになりました。そういうわけで、私と数名の仲間は中川さんにもっと本格的に教えてほしいと頼みました。ただ、当時道具は中川さんが日本から持ってきた二本の竹刀しか無かったので、本格的な練習をするにはまだしばらくかかりました。当初私は剣道というのは忍者と関連する何かかと思っていました。最初に竹刀を見て中川さんの説明を聞いた後、私の知っていたことで思い浮かぶのは映画で見た忍者の姿だけでした。勿論、剣道を練習するうちに剣道は自分が思っていたよりずっと奥深いものであると知りました。剣道のことを知れば知るほど、真剣に練習するようになりました。ついに私と仲間は中川さんに道具を買ってほしいと頼みました。中川さんがJICAに働きかけ、10セットほどの道具を得ることができました。初めて防具を身に付け

た時は皆本当に興奮していました。また、その頃、剣道の練習を続けるには政府への働きかけが必要であると気付きました。というのも、当時マラウイの一般市民は武道を行うことが一切許されていなかったからです。私は中川さんを説得し、中川さんからマラウイスポーツ協会に剣道について説明してもらいました。スポーツ協会が剣道はスポーツであると認めてくれれば問題無く練習することが出来たのです。スポーツ協会は私たちの活動を視察し、最終的に練習を続けることが出来るようになりました。

-中川さんがマラウイを離れた後、どうやって練習を続けたのですか？

中川さんがマラウイを離れたあとも、剣道二段を有する後輩 JOCV の男性が剣道クラブを支え私たちのお世話をいろいろしてくれましたが、一年後彼もまたマラウイを離れました。それから私たちに協力してくれる JOCV とは不定期に出会い、日本人の関与なしの期間もしばらくありました。その頃には私を含め何人かのメンバーが剣道を教えられるようになっていました。90年代終わりに出会った複数の JOCV は剣道経験者ではありませんでしたが、その方たちから剣道クラブを剣道協会として組織化すること、協会の運営の仕方など、沢山のことを学びました。皆さんの任期終了後、私が剣道の指導及びその他活動に関係する事務処理などを引き受けました。

-剣道の練習には技術の向上だけでなく、基礎となっている文化的価値観を理解するという側面もあると思いますが、これについてどう感じますか？

剣道には身体的な強さを身につける以外に、生活の色々な部分についての教えが含まれていると感じます。特に大きな要素は自己鍛練（'discipline'）だと思います。精神修行とも言えるかもしれません。私たちがブランタイヤで剣道を練習し始めた当初、剣道が「暴力」と対極にあるということを理解してくれる人はほとんどいませんでした。中川さんはそんなとき、自分の些細な行動を含め、剣道を学ぶ人が行うすべての言動は剣道が何であるかを伝える例なのだと言いました。中川さんはよく、「学校でちゃんと勉強しなさい」と言いました。これは当時皆が抱いていた荒っぽい武術のイメージと正反対でした。また、中川さんは「どんなことをするときも一生懸命取り組まなければいけない」とも繰り返し言いました。このような中川さんの言葉を通して、私たちは剣道の精神について徐々に理解を深めることが出来ました。このような剣道の教えは、私の人格形成に少なからず影響をもたらしたと思います。剣道と出会って私の人生はより充実したものになったと強く感じますし、剣道と出会う前の自分と比較してみると考え方や物の見方も変わったと思います。キリスト教の家族に生まれ、宗教に基づく道徳についてよく教えられて育ったので、特に悪い子どもだったとは思いますが、剣道と出会ってキリスト教の教えをより理解することが出来るようになった気がします。

-剣道の精神性を若いマラウイ人に伝えるのは難しいですか？

正直に言って、マラウイ剣道協会の若いメンバーに剣道の持つ価値観を教えるのはそう難しいことではありません。マラウイは道徳がきちんと機能している社会です。マラウイで育った若者たち

は道徳的に正しいと感じられる教えには理解を示します。ですから、彼らに剣道の基礎となっている精神性を教えることは難しいことはありません。

-マラウイの若者たちはどのような理由で剣道をはじめたのですか？

昔何も知らずに剣道は忍者に関するものだったと思った私たちとは違い、今では剣道が何か知った上で参加する人がほとんどです。自己鍛練として始める人もいれば、自己防衛術として学ぶ人もいます。友達作りのために参加する人もいます。

-マラウイ剣道協会が直面する課題にはどのようなものがありますか？

数え切れないほど課題はあります。教えること自体は難しいことはありませんが、それを可能にするためには色々とチャレンジがあります。たとえば、道具のことです。竹刀や防具など剣道の道具はマラウイでは買えませんし、非常に高価なものですので簡単には購入できません。資金面ではやはり困難なときもあります。でも、「意思あるところに道は開ける」と信じてなんとかやっていますので、大きな問題とは言いません。他に課題のある分野としては技術の問題があります。中川さんがいたころは本格的な指導を受けることが出来ましたが、それ以降は何人かのJOCVに協力してもらいながら自分たちで活動が続けています。レベルの高い剣道家を派遣してもらい、高度な技術を指導してもらうことが出来れば大変うれしいです。もちろん、設備の問題もあります。先日、日本マラウイ協会から剣道場の床を寄付してもらうまで、コンクリートの上で練習していたのですから。

-マラウイで剣道をさらに普及するにはどうすればよいでしょうか？

ひとつの方法はマラウイ剣道協会として大使館が行う文化行事などに積極的に参加することでしょう。また、是非検討していただきたいと思っているのは、大使館がサポートするような形で毎年トーナメントを開くということです。毎年恒例の大使杯などがあれば面白いのではないのでしょうか。また今回のインタビューのように、インターネットで私たちの活動を紹介してもらうのもマラウイで剣道を普及するひとつの方法だと思います。

-最後に、外務大臣表彰を受賞してどのように感じていますか？

大変な名誉だと感じています。マラウイ国内で初めて外務大臣表彰を受賞した団体に選ばれたなんて、信じられないほど光栄なことです。実は、このような賞がもらえるとは全く想像もしていませんでした。剣道はマラウイではまだまだ少数派のスポーツです。20年間活動してきましたが、誰にも特別褒められたことはありませんでした。そんな中、日本政府が私たちの活動を認め、二国間の文化交流に貢献していると讃えたことは、私たちにとって大きな励みとなりました。20年間続けてきたことに意味があったのだと感じ、これからも活動を継続していくモチベーションとなりました。

(マラウイ剣道協会外務大臣表彰授与式の様子は[こちら](#))



活動当初、稽古着・防具を初めて着けての練習



ブランタイヤ・スポーツ・センターに道場を構える(1993 年)



初めて開かれた大会で優勝したソンバさん(1993 年 11 月)



大会の様子(1993 年 11 月)



試合を行うソンバさん(右)(2013 年)



日本マラウイ協会による寄付で完成した剣道場の床にて(2013 年)



外務大臣表彰授与式にて、マラウイを再訪した中川さんと（右端ソンバさん）(2013 年)